

# 市測協だより

(第51号)

平成30年1月発行

一般社団法人 福岡市設計測量業協会

福岡市中央区薬院1丁目6番16号  
〒810-0022 百田興産ビル201号  
TEL (092) 751-8246  
FAX (092) 751-2271

URL <http://f-shisokukyo.or.jp>  
E-mail: [info@f-shisokukyo.or.jp](mailto:info@f-shisokukyo.or.jp)

## 福岡市水道事業管理者 清森俊彦



新年あけましておめでとうございます。

福岡市設計測量業協会の会員の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より、福岡市水道事業の推進に多大なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて水道は、都市の成長や豊かな市民生活を支える極めて重要なインフラであり、将来にわたり安全で良質な水道水を安定的に供給するとともに、健全な形で次の世代に確実に引き継いでいく必要があります。そこで福岡市では昨年2月に、今後12年間の基本計画となる「福岡市水道長期ビジョン2028」を定め、将来にわたり安心して水道水をお使いいただけるよう、事業に取り組んでいるところです。

福岡市の水道の現状といたしましては、渇水対策容量を持つ五ヶ山ダム建設事業の完了を間近に控え、今後は渇水時における市民生活などへの影響が緩和されることが期待される一方、大量更新期を迎えた施設の維持・更新が本格化しており、全長4,000kmに及ぶ配水管の更新ペースの拡大や、浄水場の浄水機能を統合するなど浄水・配水施設の再編に取り組んでいます。

また、地震による給水への影響を軽減するため、浄水場や配水池などの重要な土木構造物の耐震化を平成32年度までに、避難所や救急告示病院など全256施設への給水ルートの配水管の耐震化を平成36年度までに完了させる予定です。

都市基盤施設の計画・整備にあたり重要な役割を担っておられる、福岡市設計測量業協会の会員の皆様へおかれましては、今後とも福岡市の水道事業に、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝を心より祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

シーサイドもち 提供：福岡市

一般社団法人 福岡市設計測量業協会(市測協)会員はふくおかを愛し、ふくおかの発展に全力をつくします。

## 新年のごあいさつ

一般社団法人 福岡市設計測量業協会

会長 尾川 昇



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、日頃から当協会の運営にたいへんご理解を賜り、執行部といたしまして、厚く御礼申し上げますとともに、新年を迎えるにあたり会員皆様に幸多かれとご祈念申し上げます。

昨年自然災害として、7月には九州北部豪雨が発生して、1時間当たり129<sup>ミ</sup>という未曾有の降雨量で、朝倉市を中心として、人的被害は勿論の事、山林からの流木が河川の流れさえも変化させる等甚大な被害が発生しました。

このように最近の自然災害は従来の規模(5年～10年確率)をはるかに上回る異常気象(100年～300年確率)の数値が年毎に増えている模様です。したがって私たち人類はそのことについて、一刻も早く気付き、一人ひとりが地球温暖化の速度を遅らす努力が必要と思われまます。

今回の朝倉市の災害支援は、福岡市設計測量業協会といたしましても、早速、朝倉市に赴き、災害地区の査定のお手伝いをさせて頂くようお願いいたしましたところ、快くご返事を頂き、微力ながら参加することになりました。

参加している会社の数は延べ40社になり、会員の皆様のご協力により、地元の方々はもとより、関連の公共団体の方々にも大いにピーアールになったと思います。大変ありがとうございました。

さて、昨年も引き続き福岡市の担当部局の方々と意見交換を行い、地元企業の棲み分け、とりわけ会員のアドバンテージアップの為の社会貢献活動の模索や、技術の向上のためにも市役所若手職員と合同のセミナー開催等、建設的な意見交換の場も提供していただいています。又、会員の皆様の指名回数と受注金額は、明らかに棲み分けの変化が判断できます。なにしろ地元だけでも約550社、市外業者を含めると約670社にのぼります。事務局では、建設情報民間調査機関による福岡市の担当部局の指名回数、受注金額が公表されていますので、いつでもお越しくくださいませ。

これからの受注に関する課題は会員間のバラツキをなくすため、各社の営業ウエイトが必要となります。

最後になりますが、福岡市設計測量業協会は、福岡市民の安心、安全の暮らしを守り、更に福岡市が目指す「アジアのリーガー都市」の構築のために、技術の向上をはかり街づくりの推進に協力いたします。



## 福岡市との意見交換会

11月22日、中央区天神の福岡天神センタービルにおいて、平成29年度福岡市との意見交換会を開催しました。

福岡市担当部局から18名の出席を頂き、尾川会長の意見交換会への参加に対する謝辞のあと、財政局の仁田原課長から「忌憚のない意見を交わし、発注者受注者の双方の理解がさらに深まり技術の向上につながればと思います」とご挨拶があり、相互の意見を交換しました。

なお、詳細については、後日当協会HPに掲載いたします。



▲ 福岡市との意見交換会 活発な意見が交わされた

## 平成29年度技術講習会

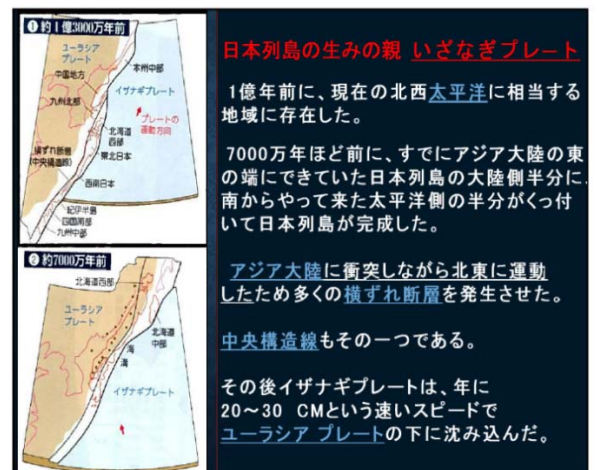
10月12日、春日市のクローバープラザにて、平成29年度技術講習会を開催しました。

平成28年4月に発生した熊本地震でのメカニズムに関連して、1億数千年前のユーラシアプレート・我が国の地質校正・マグマの対流構図・日本周辺の地球表面の地殻校正等我が国の成り立ちについての講演は災害とは別に、壮大なロマンと自然の偉大さが感じられた。

しかしながら、現在、各地で起きている災害に目を戻すと、自然の破壊力におののいたが、決して負けてはいられないと立ち上がる被災者の方々にエールを送り、現地での復旧復興を心から願いたい。

また、「雨水地下貯留槽」の説明では、7月の九州北部豪雨で被害を受けた朝倉市及び東峰村での災害の凄まじさを目の当たりにして、今後の大雨対策に対して万全に備えることが大切であると感じた。

当協会でも、測量設計の企業特性を発揮し、災害支援活動に邁進することが望まれます。



▲ 地震のメカニズム(抜粋)

### 講習内容

- I 「熊本地震のメカニズムについて」  
 大洋建設コンサルタント(株) 技師長 横尾 整 司 氏
- II 「ループ継手式大型雨水貯留槽 [ためるーぶ] について」  
 (株)ヤマウ 開発グループ 田中 啓 司 氏
- III 「測量作業を進める上での重要な事項・電子基準点の選定を終えて」  
 元(公社)日本測量協会九州支部 技術センター長 西村 千 行 氏
- IV 「災害支援活動等について」  
 (一社)福岡市設計測量業協会 防災委員長 福澤 一 博



▲ 講演に聞き入る参加者

## 平成29年7月九州北部豪雨

7月5日、福岡市防災メールで「福岡県で記録的短時間大雨 朝倉市付近で110㎜」との福岡市気象情報を、13時20分から20時にかけて頻繁に受信しました。

この記録的な大雨により、朝倉市及び東峰村では、未曾有な被害が発生しました。

当協会からも、被害を受けた被災地への支援の一助として、特に甚大な被災地である朝倉市役所へ赴き、被災見舞いととも災害義援金を寄贈いたしました。



▲朝倉市へ災害義援金を寄贈

大雨による水の破壊力で、言葉にならないほどに、地形が変わってしまった様子を目の当たりにし、立ちすくむ思いがしました。

被災された方々へお見舞い申し上げますとともに、現地の復旧復興に向け、当協会員の測量設計の技術力を結集して復旧の一助を担い、取り組むことを痛切に感じました。



▲ 赤谷川水系小河内川被災状況

当協会では、被災見舞いととも災害に関わる測量設計についても支援可能であることを伝え、早速、朝倉市の公共災害(市道、市管理河川)、農業災害(農地、農業施設)の査定に向けた測量設計に依頼がありました。

朝倉市における公共災害は市道、河川併せて660箇所程度、農業災害は2000箇所程度が被災しており、当協会には甚大な災害が発生した杷木地区の道路、河川、橋梁と甘木地区の農業災害の査定設計を依頼されました。

支援協力可能な会員(測量設計合わせ、延べ39社)で対応することとなり、市道259箇所、河川92箇所、橋梁10箇所、農業災害57箇所あまりの査定設計等を実施いたしました。

杷木地区においては、赤谷川、白木谷川、北川と大きな被害を出した地区であり、当初は道路が寸断され、現地へ赴くことにも困難が生じていました。

測量において、危険箇所2箇所をドローンによる写真撮影および図化を試みましたが、立木等に遮蔽されたために現地状況が適確に反映されず、実測との差異が大きくなり、今後は、写真図化でなく点群データからの図化が有効となるのではないかと考えられます。

支援協力会員の皆様には、これまでの活動に感謝いたしますと共に、これからも被災地の復旧支援にご尽力をお願い申し上げます。

防災委員長 福澤一博



▲ 北川水系導目木川被災状況



▲ 白木谷川 白木2号線被災状況

# 道路危険箇所調査実施

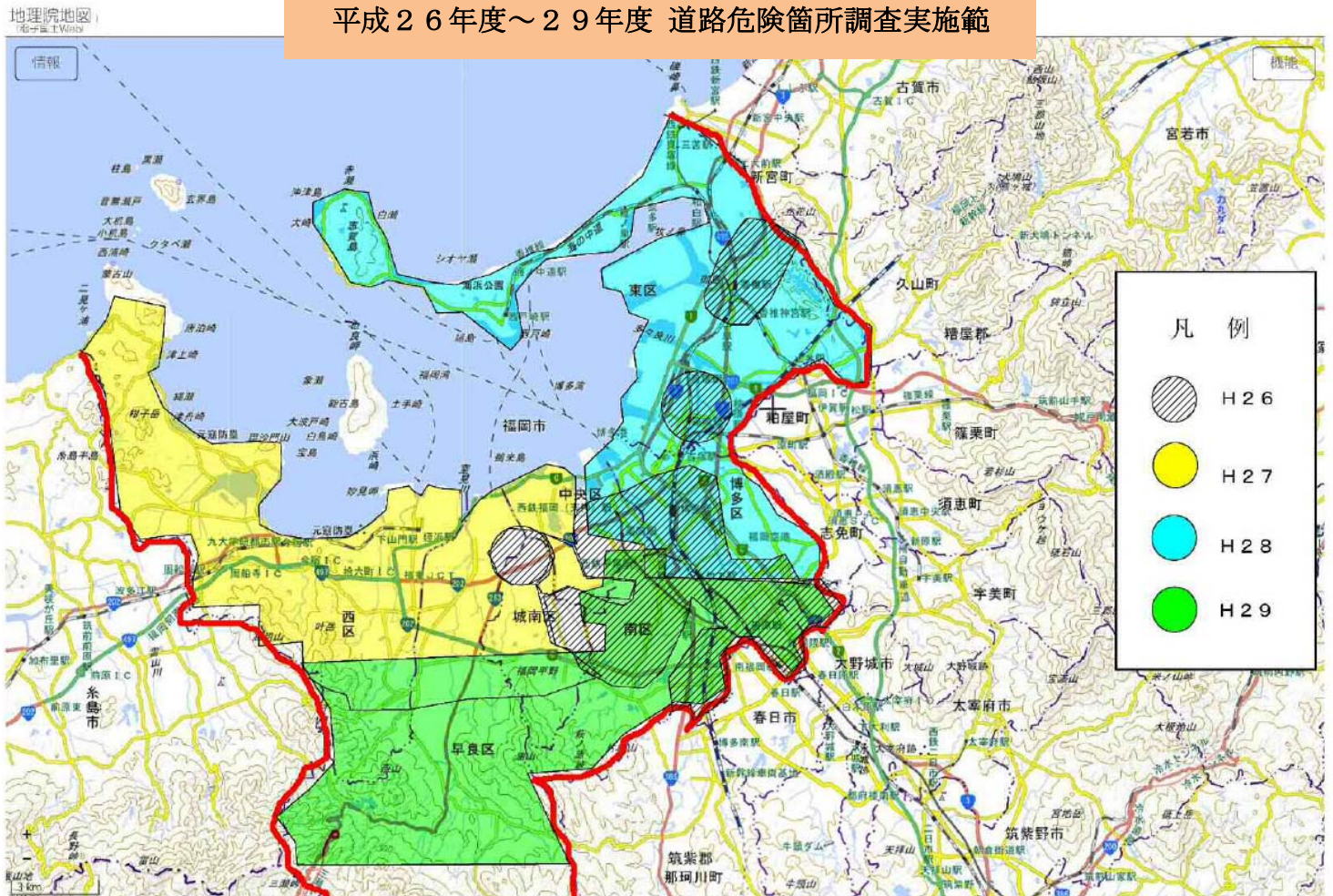
当協会では、平成26年度から福岡市道路下水道局長からの依頼「道路の破損等の情報提供について（平成26年6月2日付）」に則り、1年に1度の一斉危険箇所調査を実施しております。

本年度で4年目を迎え、協会員の協力の下、4年間で市内318.3km<sup>2</sup>（重複箇所あり）を調査しました。調査面積は、福岡市全体の約90%となり、危険箇所の総計は、2,987箇所となっております。

この調査を通じて、市民の安全、安心に貢献していきたいと思っておりますので、今後とも会員皆様方のご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

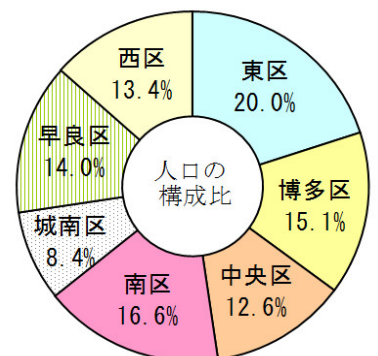
また、当協会の平成29年度の取組みとして、福岡市と締結した「防災支援活動に関する基本協定書」（平成25年2月15日付）を基盤に防災支援活動の演習を積み重ね、万全の体制を整えておくと共に、専門技術集団として更なる技術の研鑽を積み重ね、優れた成果を追求すると共に、地域に精通した企業特性を發揮し、協会員としての役割をしっかりと果たしてまいりたいと思っております。 【防災委員会】

平成26年度～29年度 道路危険箇所調査実施範



福岡市の面積		福岡市の人口	
	343.39 K <sup>m</sup> <sup>2</sup>		1,567,189 人
東区	69.36		313,575
博多区	31.63		236,859
中央区	15.40		196,787
南区	30.98		259,478
城南区	15.99		131,242
早良区	95.87		218,779
西区	84.17		210,469

H29.10.1現在  
福岡市HPより引用



## 測量の日「あそこまでなんぼ」

6月3日、天神中央公園において、「測量の日」恒例の記念イベント『第21回あそこまでなんぼ』を開催しました。

来賓に、国土地理院九州地方測量部長 齋藤勘一様、福岡市財政局理事 名古屋泰之様、(一社)福岡県測量設計コンサルタント協会 長 横山巖様の方々をお招きし、盛大に行われました。

当日は、夏日となった晴天の中、それぞれの歩幅にあわせて大勢の市民の方に歩測に参加して頂きました。



▲ 歩測の様子



▲ 来賓の方々

6月3日測量の日とは  
「測量法」が昭和24年6月3日に  
制定されたことに基づきます。



## 飲酒運転撲滅大会

8月25日、「飲酒運転ゼロを誓う、市民の集い2017」が福岡市役所西側ふれあい広場にて開催されました。

当協会では、「飲酒運転撲滅宣言の採択及び 飲酒運転撲滅大会への参画」を社会貢献活動を取組方針としており各団体と共に、当日参加いたしました。

これからも、飲酒運転撲滅大会への参加を通して、社会貢献活動に取り組んでまいります。



▲ 飲酒運転撲滅大会

## 測量の体験学習

12月13日、南区の三筑小学校において測量体験の出前授業が行われました。

原稿依頼中



昨年の測量体験学習の様子

## 福岡市技能功労者表彰

11月30日、中央区の天神スカイホールにおいて、福岡市の技能功労者等表彰要綱に則り、平成29年度福岡市技能功労者・技能優秀者の表彰式が開催されました。

当協会からは、測量士として大正測量設計㈱の川崎信三氏(65歳)に、高島福岡市長(代読：中園副市長)より、表彰状と記念品が授与されました。川崎氏は、永年、測量業務に携わり技術の修得と技能の研鑽を積み重ねてこれ、今後も、更なる活躍と後進の指導にあたって頂きたいと思えます。

この度、当協会のご推薦を賜り、平成29年度福岡市技能功労者表彰を拝受いたしましたことに心より感謝を申し上げます。

当協会においては、優秀なる技能功労者が多数おられる中、尾川会長をはじめ役員の方々によるご推薦をいただき、栄誉ある表彰を賜りましたこと、協会員の皆様には厚く御礼申し上げます。

受賞にあたり、原点に立ち返りみれば、都会に憧れを抱き東海地区の測量設計コンサル会社に就職したのが昭和46年4月、富士山裾野の砂防調査や大井川での河川調査などの作業を行うなかで、技術知識・技能の未熟さを痛感し、一念発起、測量専門学校を経て新たな専門技術者としてスタートしたことが思い出されます。

その後、福岡市内の弊社に就職し、43年目を迎えて思うとき、新人社員教育における社長訓話での作業上の心がけとして、技術者の倫理観、コミュニケーションの重要性の言葉は、今も私の仕事に対する原点だと思っています。

アナログ時代に培った作業一つひとつが、今に繋がっていることを強く感じるところです。

平成を機に、測量機器の飛躍的な進歩に伴い、測量技術は大きく向上しました。

特に、衛星の活用は目覚ましい発展を遂げ、日本の準天頂衛星「みちびき」打ち上げにより、ますます活用度合いが増すものと、期待しているところです。

これからも、今まで培った技術を次の世代の方々へ伝え、微力ではありますが、担い手確保の一役を担うことができよう、頑張っていきたいと思えます。

当協会のますますの発展を祈念申し上げまして、感謝の言葉といたします。  
大正測量設計㈱ 川崎信三



▲ 受賞した川崎信三氏

## 福祉大会の開催

会員の福祉の向上と親睦をはかり、相互の交流と親交を深めるため、各種福祉大会を開催しました。

### 第33回ソフトボール大会

日時：平成29年4月14日(金)  
場所：雁の巣レクリエーションセンター  
参加：8チーム

優勝：(株)アイエスプランニング  
準優勝：(株)大建  
第3位：(株)サンコンサル / チームDOM



### 第37回ボウリング大会

日時：平成29年11月10日(金)  
場所：西新パレスボウル  
参加：8チーム

優勝：(株)カクマル  
準優勝：(株)福岡ヤマックス  
第3位：メック(株)A



▲ 4連覇した(株)アイエスプランニング



▲ 優勝 (株)カクマル

## 設計部会 36社

㈱アジア建設コンサルタント	朝倉コンサルタント㈱	㈱旭建設コンサルタント	エコエンジニアリング㈱
㈱エム・ケー・コンサルタント	㈱エムテックエンジニアリング	(有) 鐘ヶ江設計	九州コンサルタント㈱
極水設計 ㈱	㈱クマガイ設計測量事務所	玄洋技術 ㈱	五光設計 ㈱
㈱サンコンサル	産業開発コンサルタント㈱	(有)シティ・シビル・コンサルタント	㈱昭和建設コンサルタント
㈱新世コンソーシアム	㈱スリーエヌ技術コンサルタント	㈱西部技術コンサルタント	㈱創造技術
ダン技術設計 ㈱	第一総合技術 ㈱	㈱大建	大正測量設計 ㈱
太洋建設コンサルタント㈱	㈱大陸総合コンサルタント	㈱拓研コンサルタント	㈱トキワ・シビル
㈱東洋技術コンサルタント	都市企画センター ㈱	㈱都市計画設計事務所	(有)野田土木設計事務所
福岡建設コンサルタント㈱	㈱富士総合技術コンサルタント	㈱不動エンジニアリング	メック ㈱

## 測量部会 37社

㈱アイエスプランニング	㈱アオイ	㈱アースプランニング	㈱イーディシー
井野測量設計	㈱浮羽技研	㈱エイティティ福岡	S.K.D測量事務所
栄和測量設計 ㈱	㈱ガイア	春日総合技術 ㈱	基洲測量 ㈱
共和航業コンサルタント㈱	㈱九州技術協力	九州測量設計 ㈱	㈱コンテック
(有)光陽測量設計	(有)国土調査事務所	三栄測量設計 ㈱	㈱ジオ
新日本測量設計 ㈱	(有)セイワ測量設計	㈱測栄舎	㈱タイセイ技建
㈱高田工務所	㈱大高開発	大光技術コンサルタント ㈱	大樹測量設計 ㈱
㈱デヴァイス藤原	㈱豊田工務所	㈱中村測建	西技測量設計 ㈱
㈱プライム技術開発	福高総合技術コンサルタント ㈱	㈱明和技研	㈱優輝総合コンサル
芳野測量設計 ㈱			

## 賛助会員 19社

大野コンクリート ㈱	㈱カクマル	㈱柏木興産本店	㈱九コン
㈱ジオテック技術士事務所	㈱シティプラン	㈱実測	㈱ディーシー
日本乾溜工業 ㈱	日本地研 ㈱	日本ヒューム ㈱福岡支社	福岡コンクリート製品協同組合
㈱福岡ヤマックス	福井コンピュータ ㈱九州営業所	㈱松尾測機	松永測機 ㈱
㈱水上洋行	水谷建設工業 ㈱福岡支店	㈱ヤマウ	

## お知らせ



## 【住所変更】

- ・ ㈱タイセイ技建 代表取締役 中村 亨 (平成29年 1月)  
〒814-0142 福岡市城南区片江2丁目18-13 TEL 834-4007 fax 834-4008
- ・ ㈱イーディシー 代表取締役 大野洋造 (平成29年 6月)  
〒810-0075 福岡市中央区港1丁目8-4 TEL 716-3611 fax 716-7151
- ・ ㈱浮羽技研 代表取締役 佐藤 繁 (平成29年 8月)  
〒811-1364 福岡市南区中尾3丁目48-3-103 TEL 559-0726 fax 559-0776

## 【代表者変更】

- ・ ㈱エム・ケー・コンサルタント 代表取締役 廣松敏幸 (平成29年 1月)
- ・ 福岡建設コンサルタント 代表取締役 宮本朋忠 (平成29年 4月)
- ・ ㈱都市計画設計事務所 代表取締役 松岡 幹 (平成29年 6月)
- ・ ㈱ヤマウ 代表取締役 小嶺啓藏 (平成29年 6月)
- ・ 日本乾溜工業 代表取締役 伊東幸夫 (平成29年 8月)

## 編集後記

市測協だより第51号に対するご意見ご要望をお寄せ下さい。【広報部会】